



2020年2月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量が前年同月比で16ヵ月ぶりに増、積込量は15ヵ月連続減、取卸量は4ヵ月連続の増

概要

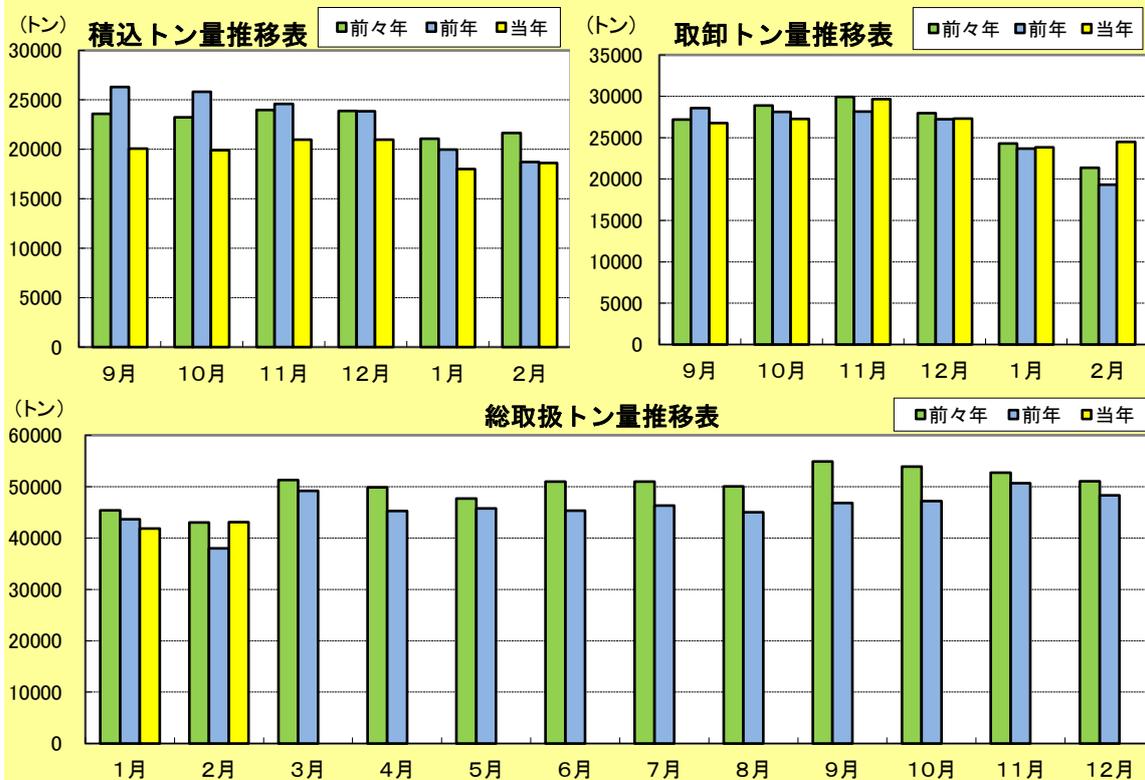
2020年2月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 43,089トン(前年同月比 13.4%増)

積込量 18,604トン(同 0.5%減)

取卸量 24,485トン(同 26.9%増)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量が16ヵ月ぶりにプラス、積込量は15ヵ月連続でマイナス、取卸量は4ヵ月連続でプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出货量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,171トン(前年同月比 7.2%増、シェア 10.8%)

その他地域通関 9,643トン(同 20.8%減、同 89.2%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は7カ月ぶりにプラス、その他地域通関は14カ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 7,319トン(前年同月比 15.0%増、シェア 50.3%)

その他地域通関 7,223トン(同 10.2%増、同 49.7%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は3カ月ぶり、その他地域通関は9カ月ぶりにプラスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 7,790トン(前年同月比 43.4%増)

取卸量 9,943トン(同 55.8%増)

となり、前年同月比で見ると、積込量は6カ月連続、取卸量は7カ月連続でプラスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2020年2月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,027トン(前年同月比 20.0%減、シェア 14.0%)

ドライ貨物 6,292トン(同 23.9%増、同 86.0%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、水産物16.5%(同39.3%減)、果物12.6%(同7.7%減)、野菜等46.4%(同18.7%減)、植物(切花等)11.1%(同15.9%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2020年2月			2019年2月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	7,319	115.0%	100.0%	6,364	92.5%	100.0%
生鮮	1,027	80.0%	14.0%	1,284	97.5%	20.2%
ドライ	6,292	123.9%	86.0%	5,080	91.3%	79.8%